

## 首都圏の旅行需要を掘り起こせ JOTICが羽田空港の海外旅行イベントに企画協力

JATAアウトバウンド促進協議会（JOTIC）は、3月30日から4月1日までの3日間にわたって羽田空港国際線ターミナルビルで開催された海外旅行イベント「もつと海外へ2018」羽田から世界への企画協力を通じ、需要喚起活動を実施しました。

同ターミナルビル3〜5階の施設などを活用したイベントは、「羽田空港で世界を感じてもらい、同空港からの国際線を利用する海外旅行需要の拡大を目指したもので、航空会社11社と5カ国の大使館、22の観光局が出席したほか、出展者らによるセミナーやステージパフォーマンスなどによって、それぞれのデステイネーションの魅力アピールしています。



首都圏の空港では初めてとなるイベントは多くの来場者で賑わいました

会期中の3日間を通じて実施されたセミナーでは、10社2カ国による21のプログラムに約500人が参加しました。  
同ターミナルビルによると、首都圏の空港

では初めて開催された今回の海外旅行イベントには、3日間で合わせて4万1000人が来場しています。

同ターミナルビルでは、次年度以降もイベントを開催する方向で検討を行っており、首都圏からの海外旅行需要を喚起する取り組みとして、今後の展開も期待されるところです。

## ハワイ島で旅行7社がバスを共同運行 JOTICハワイ観光ワーキングの提案で実現

ハワイ島のコハラコースで4月1日から、旅行会社7社による「ハワイ島イブニングシャトル」の運行が開始されました。

ANAセールズ、エイチアイエス、近畿日本ツーリスト、JALパック、JTB、東武トップツアー、日本旅行の7社の顧客が利用できる同シャトルは、マウナケアビーチホテルとクイーンズマーケットプレイスの間で15時から22時半までの時間帯に運行されるもので、各社のパッケージツアー商品にも組み込まれる予定です。



ステージイベントで盛り上がる来場者ら



ビーターラビットも登場して「もつと海外へ」とアピール

同シャトルの運行は、JATAアウトバウンド促進協議会（JOTIC）北中南米部会のハワイ観光ワーキングで発議され、旅行会社7社が参画する形で実現。旅行会社が共同でシャトルバスを運行するのは、ハワイでは初めての取り組みで、運行については、ハワイ島観光局とコハラコースト・アソシエーションが共同で支援する形となっています。

同シャトルが運行を開始する前日の3月30日には、参画する旅行会社の関係者などがバスのルートに含まれる6つのホテルと3つのショッピングモールの各停留所で、ハワイ伝統のプレッシングを行って運行の安全を祈願しました。

また、安全祈願のレセプションパーティーには、ハワイ観光局のジョージ・シゲティ・プレジデント&CEO、ハワイ島観光局のロス・パッチ局長をはじめ、各ホテルやショッピングモールのジェネラルマネジャーなど約60人の関係



「ハワイ島イブニングシャトル」の前に集結した関係者ら



各停留所で安全を祈願して行われたハワイ伝統のプレッシング

者が集結し、日本市場への期待の高さをうかがわれています。

ハワイ州観光局のエリック高畑局長は、「旅行会社による共同運行という初めての試みを受けて、ハワイ島の各エリアや他の島でもシャトルバスの共同運行への期待が高まっており、今後もハワイ観光ワーキングや旅行会社などと実現に向けて取り組んでいきたい」と意欲を示しています。